

菊池 淳也 さん（平成25年卒）

奥州市役所 財務部 税務課 勤務

◇お仕事の内容を教えてください

市民税係という部署に配属されています。市民の方の個人住民税（市民税・県民税）を計算し、その税金の額を皆さんにお知らせする仕事を担当しています。

◇仕事を通じどんなことに喜びを感じますか

会社や個人の方から税金に関する問い合わせを受ける機会があるのですが、お金に関する内容ですので、「教えてくれてありがとう。助かった。」という言葉が頂くことがあり、嬉しく感じます。

また、税金の知識を身につけることで、自身の生活にも活かすことができます。家族や友人からも頼りにされることが増え嬉しいです。

◇将来の夢を教えてください

奥州市がより元気に、活発に、住んでいる方や自分自身が「ここっていいな」と思えるようなまちづくりのアイデアを立案し、それを実現してみたいです。そのために、様々な分野にアンテナを張って勉強する姿勢を身につけていきたいと考えています。

◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

高校生活では生徒会執行部に所属し、クラスマッチ、学園祭、予餞会をはじめとした様々な校内行事の企画・運営に携わることができました。

一方で、ステージ発表の出し物を考えたり出演したりするのが好きで・・・勉強そっちのけで・・・いやいや、勉強と同じくらいの熱量をもって取り組んだのが一番の思い出です。

勉強面では先生方の手厚いサポートのもと、平日も土日もお世話になりましたし、電車、バス、車など、通学中のスキマ時間を使って勉強したりもしました。

熱意をもって全力で取り組んだことは、かけがえのない経験だったと感じています。

◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

高校生活は自分がやりたいこと、熱中できること、得意なことを見つけるチャンスに多く触れられる時期だと思います。今過ごしている一時一時や周りの人たちとのつながりを大切に、感謝して過ごして欲しいと思っています。

最後に、これからの人生にきっと役立つと思う考え方を紹介します。

！時間は有限

時間は有限です。1日は24時間しかありません。何かの時間を生み出すには、何かの時間を削らなければなりません。残酷ではありますが、何かを得るためには、何かを犠牲にしなければならないのです。

何かを得る選択、何かを犠牲にする選択、その判断は適切なのかどうか、是非とも考えてみてください。



！やる気は「出す」もの

「やる気」は「出る」ものではありません。「出す」ものです。自分で動き出さない限り何も始まりません。とはいえ、実はその動き出そうとする一番始めが一番労力が要ります。もし動き出すのがめんどくさいと感じたときは、ハードルを思いっきり下げてください。例えば腹筋1回やったら終わり、参考書1行読んだら終わり、などです。そうすると不思議と「じゃあこのまま続けようかな」と思うことができます。

！「ま、いっか」を大切に

楽しいこともいっぱいある高校生活ですが、ストレスもいっぱいあると思います。部活の大会や受験など、たくさんプレッシャーもあるでしょう。そういったストレスの経験もある程度は大事なのですが、ため込みすぎるのはよくないです。

そんなとき、「ま、いっか」と声に出してみてください。少し気が楽になると思います。頑張っている自分を認めてあげることも必要です。

☆取材後記

冷静で物静かに見えて、それでいて、熱い心を持った菊池さんでした。

特に「専北生に伝えたいメッセージ」については、ご自身の経験や積み重ねてきた苦勞を踏まえたものであり、説得力があります。

生徒の皆さんには、「やる気は出すもの」に書かれた「先ず、ハードルを下げてください」のメッセージを実践してみてください。効果抜群ですよ！（担当：Y）